



「ゼロカーボンシティ」宣言

上三川町は、古くは「三川郷」と呼ばれ、母なる大河・鬼怒川をはじめ、江川、田川が流れるとともにその他にも数多くの河川や水路を有し、潤い豊かな水辺空間に恵まれており、これら河川地域を中心とする平坦地には、豊かな水と肥沃な土の恩恵を受け、美しくのどかな田園空間の広がり、都市部では見られない水と緑の豊かな自然環境・景観を誇ります。

しかし近年、地球温暖化による気候変動の影響で気象災害は増加傾向にあり、本町においても令和元年10月には台風19号により浸水等の甚大な被害が発生しました。これらの気候変動による影響は、さらに深刻化すると予測され、わたしたちは今まで以上に地球温暖化が原因とされる気候変動に強い危機感をもつ必要があります。

今後も先人たちが築いてきた地域の持続的な発展を目指し、脱炭素社会の実現に向けた取組みを強化して次の世代に引き継ぐため、再生可能エネルギーの導入や地球温暖化対策などを広め、町民や事業者、関係団体と連携を図りながら、上三川町は、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」をここに宣言します。

令和5年3月16日

上三川町長 **星野光利**



ORIGAMI のまち
かみのかわ